

(様式第2号)

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日:	令和6年7月2日
事業者名:	株式会社エム工業

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	株式会社エム工業では、事業において事務処理等のIT化を進める事に資源の無駄の削減に取り組んでおります。ITの力を駆使して社内の不必要な電源を削減するなどの自動化ソフトウェアを使用する事で、エネルギー消費の無駄を抑え、地球環境にやさしい経済活動の実現を行っております。	⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに	2024年3月の事務所電気代金：9972円 ※電源自動カットソフトウェア導入前 2024年4月の事務所電気代金：8123円 ※電源自動カットソフトウェア導入後 上記の結果から、電力エネルギーの無駄の削減に成功	指標	電力エネルギーの無駄の削減。
				目標	2030年までに、2024年度比で30%の削減を目標とする
社会	株式会社エム工業では、すべての人が健康に暮らせるように、高気密高断熱の住宅にするリフォーム工事をご提供しております。夏は涼しく、冬は暖かい。そこで暮らす方が毎日を健康的に暮らせるリフォーム工事によって、「すべての人に健康と福祉を」のSDGs活動を行っております。	③すべての人に健康と福祉を	2023年度に高気密・高断熱の工事を行った住宅2件では、どちらもUa値0.6、気密性能値0.6の快適性の数値クリアを実現。	指標	高気密高断熱のリフォーム工事において、Ua値0.6、気密性能値0.6の快適性の数値クリアの施工率
				目標	2030年までに、高気密高断熱のリフォーム工事において、Ua値0.6、気密性能値0.6の快適性の数値クリアをすべての住宅（施工率100%）にて達成を目標とする。
経済	ワークライフバランスの充実の為に株式会社エム工業では、社内規則を作成し、私生活を充実できるように様々な施策に取り組んでおります。特別休暇制度を設ける事で、趣味の時間や家族の時間などを確保する事で仕事への働きがいを促進し、経済成長に繋がる活動となっております。	⑧働きがいを促進し、経済成長も	2024年5月から、社内規則を変更・記述化し、特別休暇制度の設定。	指標	従業員の働き方の変更、ワークライフバランスの重視に伴う働きがいの満足度の上昇
				目標	半年に一度の従業員との面談において、ワークライフバランスへの意識と働く意欲に関する項目を追加。5段階の評価（1が最低5が最高）をしてもらい、平均4点以上を目標とする。
ガバナンス	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 <具体的な内容を記載> ■重点項目についてホームページへの記載と従業員への周知を行っております。 ■半年に1度の面談の際に重点項目のSDGs活動についてのヒアリングと意見交換・意識共有を行い、PDCAサイクルを回す仕組みとしています。			
	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 SDGsの取り組みについての特設ホームページ： https://labo-kkstudio.com/mkogyo/			